

科目名		外国事情ⅡA (Foregin Affairs ⅡA)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	前期	45時間		
担当教員		【常勤】講師 挟間雅義 【常勤】助教 根岸可奈子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル		<ul style="list-style-type: none"> ・各地域に点在する国の首都、都市名、エピソードなどを理解し、説明できる。 ・各地域に点在する国の特徴について把握し、興味を持つことができる。 ・国際経済において日本経済が歴史的にどのような立場であったのか説明できる。 ・貿易や地域統合における基本的用語が説明できる。 							
到達目標(評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標①	マイナーな国の首都や都市名を把握できる	国の首都名や都市名だけでなく、地区名も把握できる	国の首都名や主要都市は把握できる	国のことについて何も分からない					
到達目標②	いろいろな地域についての情報に対して、なんらかの見解を独自の視点で説明できる	各地域において主要国の特色だけでなく様々な情報を収集し、説明できる	各地域において主要国の特色を説明できる	国々について興味を持ってない					
到達目標③	国際経済と日本経済の関係性について歴史的背景を理解し独自の考察を加えながら説明することができる。	国際経済と日本経済の関係性について歴史的背景を理解し説明することができる。	国際経済の流れを理解できないが、日本経済の特徴は説明できる。	歴史的な国際経済の流れや日本経済の特徴を説明できない。					
到達目標④	TPP、WTOといった主要な用語の意味を説明できると同時に、それらに対し独自の見解を論じることができる。	TPP、WTOといった主要な用語の意味を説明できると同時に、それらに対し一般的な見解を論じることができる。	TPP、WTOといった主要な用語の意味を説明できる。	TPP、WTOといった主要な用語の意味を覚えていない。					
学習・教育到達目標	F③④		JABEE基準1(2)		(a)				
達成度評価(%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	50	45		5					100
知識の基本的な理解【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							/
思考・推論・創造への適用力【適用、分析レベル】	◎	◎		◎					
汎用的技能【論理的思考力】		○		○					
態度・志向性(人間力)【主体性】				○					
総合的な学習経験と創造的思考力【創成能力】	○			◎					

関 連 科 目 ， 教 科 書 お よ び 補 助 教 材

関連科目	外国事情 I A、外国事情 I B
教科書	レジュメを配布する。
補助教材等	資料は適宜配布する。

学 習 上 の 留 意 点

各種講義やニュースで登場する国々について理解を深める前提として、覚えるべき用語が多い。各自特に復習に注力しておくこと。考察においては、日ごろからニュース等にアンテナを張っておくとよい。

担 当 教 員 か ら の メ ャ ャ ャ ャ ャ

日系企業も多数海外に進出している。中小企業も例外ではない。ライバルとなる外資系企業も多数日本に参入してきて久しい。このような国際的な経営を理解するためには、外国事情の理解を深めることは不可欠である。同時に、まだ見たこともない、聞いたこともない事象が様々出てくるので是非興味をもって聞いてほしいと思う。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	オリエンテーション 世界にはどんな国があるのか紹介	世界にはどのくらいの国が存在するのかについて理解できる。	
2	・東南アジア地域	東南アジアにはどんな国があるのか把握できる。 東南アジア国々の地理、文化について理解できる。	予習：アジアの国々について調べる 復習：アジアの地理について把握する
3	・東アジア地域	東アジアにはどんな国があるのか把握できる。 東アジア諸国の地理、文化について理解できる。	予習：東アジアの国々について調べる 復習：東アジアの地理について把握する
4	・ヨーロッパ地域	ヨーロッパにはどんな国があるのか把握できる。 ヨーロッパ諸国の地理、文化について理解できる。	予習：ヨーロッパの国々について調べる 復習：ヨーロッパの地理について把握する
5	・アフリカおよびオセアニア地域	アフリカ・オセアニアにはどんな国があるのか把握できる。 アフリカ・オセアニアの地理、文化について理解できる。	予習：アフリカ・オセアニアの国々について調べる 復習：アフリカおよびオセアニアの地理について把握する
6	・北米と南米地域	北米・南米にはどんな国があるのか把握できる。 北米・南米の地理、文化について理解できる。	予習：北米と南米地域について調べる 復習：北米と南米の地理について把握する
7	ここまでのまとめ	復習により、各地域の特色を理解して、説明できる	
8	中間試験		
9	世界経済と日本	国際的に拡大するヒト、モノ、カネの動きを説明できる。	予習：9回講義内容 復習：資料をもとに見解を述べる。
10	アメリカを中心とした戦後の国際経済	日本を取り巻く国際的な経済的、政治的経緯を歴史的に説明できる。	予習：10回講義内容 復習：資料をもとに見解を述べる。
11	貿易	貿易に関する基本事項を説明できると同時に、WTOを中心とした経済システムも説明できる。	予習：11回講義内容 復習：資料をもとに見解を述べる。
12	経済統合	様々なタイプの国際的な経済統合について説明できる。	予習：12回講義内容 復習：資料をもとに見解を述べる。
13	経済の現況 1	アジアを中心とした諸国の経済状況について説明できる。	予習：12回講義内容 復習：資料をもとに見解を述べる。
14	経済の現況 2	アジア以外の地域における経済状況について説明できる。	予習：13回講義内容 復習：資料をもとに見解を述べる。
前期末試験			
15	試験返却、解答解説 総括 授業改善アンケート	試験の解説を行い、間違った箇所が理解できる。	予習：自己採点 復習：解き直し
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自 学 自 習			15 時間